

新 ビジネスデザイン研究科委員長 松井教授インタビュー



本年度からビジネスデザイン（以下BD）研究科委員長が亀川教授から松井教授にバトンタッチされました。フレッシュな新委員長の松井先生に、今後の抱負や院生へのメッセージなどをお聞きしました。

（記事：小野陽子、星幸恵）

Q BD研究科委員長に就任されて一ヶ月経ちましたが、感想はいかがですか？

A 三つの独立研究科の運営部長も兼任しているのですが、大変忙しい毎日です。メールの数も以前に比べて格段に増えました。

Q 先生がお考えのBD研究科の特色について教えてください。

A 一つ目は人数の多さです。さまざまな職種や分野の人が在籍しているため、人脈が広がる大変良い環境となっていると思います。二つ目は、教える先生方がバリエーションに富んでいて、様々なニーズに対応できることです。

また、昨年度から必修選択制度が始まりました。MBAの名に恥じないよう会計やファイナンスの知識を向上させ、全体のレベルを高めることが目的です。振り返ってみて、今、良い成果が出ていると思います。ただし、そ

の分、専門科目に入るのが遅くなるので、夏休みなどを利用して自分でフォローしてほしいと思います。

Q 今後BD研究科をどのようにされていくとお考えですか？

A まずはゲストスピーカーを呼んで話をしていたり、機会を増やしたり、コンサルメントのカリキュラムを改良することなどに取組んでいきたいと思っています。

しかし、BD研究科を木に例えると、幹の部分は学校が考えるカリキュラムですが、そこに枝葉を繁らせていくのは院生の役目だと思います。皆さんから面白い発想ができれば取り入れていきたいです。ぜひ指導教授を通じて研究科委員会に提案していただければと思います。例えば、国際的な調査研究活動の計画など面白いですね。

Q 委員長としての抱負をお聞かせください。

A 在籍している学生が、学ぶべき事を学び、事故なく無事に修了することが第一です。もちろん皆さんが「立教のBD研究科で学んでよかった」と言っていただけだけの自信はあります。

Q 最後にBD研究科の学生へのメッセージを。

A 三つの心得を提案します。第一に、自分の背負っている「キャリア」というリユースを一旦降ろすことです。ついつい自分のキャリアを意識しすぎて人と比べてしまうことがあるので、一度それを外してみることが必要です。第二に、初心にかえり、謙虚に授業を聞くこと。第三に、人のキャリアを尊重しあうことです。こういう心得・気持ちで学んでいくと、学問の本質が新たに発見でき、学問の深さを再確認できると思います。

そして、学び方のステップとして、まず自分のレベルを客観視して、次に自分の弱みを克服し、最後に自分のタイプを再確認して強みを磨く。こういう順序で学んでくれれば、いつか本物となって大輪の花を咲かせる事ができると思います。

7期生紹介



生まれも育ちも埼玉県！

ゆげ はやと
弓削 勇人さん

「東上線で池袋から45分の坂戸に住んでいます」

①お仕事紹介

理・美容室と美容専門学校の経営をしています。以前はバリバリ現場でカットしていたのですが、すっかりデブになってしまい、暑苦しいので現在は裏方に徹しています。

②大学院入学のきっかけ

調子に乗って店舗展開をしていたところ、1店舗潰れて…。しっかりと経営を勉強する必要があると思い、進学を決めました。

③大学院で学びたいこと

チェーンビジネス関係を学びたいと思っています。現在美容室は全国20万軒、理容室は10万軒あり、郵便ポストより多いと言われてます。そんな状況の中で生き残り、成長していくには、しっかりとした知識の裏付けが必須だと考えています。小売や飲食等他業種の例を学びながら、サロン・学校経営に生かしていけたらと思っています。

④今後のキャリアにおける抱負・ビジョン

理・美容業界を代表するような会社になりたいと思っています。

⑤自己PR・院生へのメッセージ

みなさん大変勉強熱心な方々ばかりで、すごいといつも刺激を受けています。さまざまな社会経験を積まれた方がいらっしやるので、お話をたくさんお聞きしたいと思っています。2年間ご指導よろしくお願ひいたします。



旅は私のライフワーク！

のだ あやこ
野田 彩子さん

「埼玉出身、乗馬もテニスもこなします！」

①お仕事紹介

2年前からPR会社（広報コンサルティング）に在籍し、主にBtoBのIT関連会社を担当。それまでは主に旅行・観光業関連の仕事に従事していました。

②大学院入学のきっかけ

24歳の頃、アメリカに1年間インターン研修に行きました。その時、多くの女性が子供を産んでから大学院に戻り好きな勉強を続けたり、また再就職する姿を見て、とても刺激を受けました。「いつか大学院で勉強しよう」と決めて帰国、今回にいたりました。

③大学院で学びたいこと

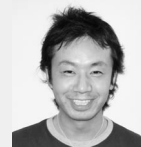
「観光」に強い立教大学で学ぶことは昔からの憧れでした。希望の分野を可能な限り学ぶだけでなく、苦手意識のあった財務、会計、統計などを克服して経営管理の知識を身につけ、ビジネスデザインに取組みたいと思っています。教授、同級生との交流や一般教養、知識を高める時間も大切にしながら、自分の研究を進めていきたいです。

④今後のキャリアにおける抱負・ビジョン

私自身のキャリアのテーマは、Tourism × Marketing × ITです。昔から、「将来はインターネットを活用して、旅行したい人をサポートするビジネスがしたい」「海外から日本に旅行に来る人をサポートしたい」というビジョンがあります。自分が考える理想のビジネスをこの2年間で追及したいと考えています。また、「ワーク・ライフ・バランス」を実現することも私にとって重要な課題です。

⑤自己PR・院生へのメッセージ

入学して1ヶ月が経ちますが、授業からだけでなく、同期や先輩の皆さまからも、とても刺激を受けています。これから2年間、どうぞよろしくお願ひします。



趣味はキックボクシングと読書！

あえば みちたか
饗庭 道孝さん

「社都、仙台市出身、文武両道！」

①お仕事紹介

証券会社で営業職。新規開拓や既存のお客さまへの株式・債券・投信等の販売・相談を行っています。

②大学院入学のきっかけ

インターネットの発達により、投資家は情報を容易に手にすることができるようになり、証券業界は情報を握っているという強みを失いました。顧客とのWin-Winの関係構築しなければ顧客から支持されなくなる時代に入ったと推察します。収益体制を維持しつつも、顧客志向の提案ができる会社を立ち上げたいという思いに至り、入学いたしました。

③大学院で学びたいこと

独立系のファイナンシャルプランナー（Independent Financial Adviser以下：IFA）として起業する予定ですので、金融や経営全般を中心に学びたいと思っています。

④今後のキャリアにおける抱負・ビジョン

私の、キャリアゴールはIFAとして独立し成功することです。その過程で、ファイナンシャルプランナーや証券アナリストなどの資格を取得し、自分に付加価値を付けていくつもりです。ちなみに、アメリカでは、体の相談は医者さん、法律の相談は弁護士、お金の相談はIFAと並び称されるくらいの地位があり、日本でも需要が増えると思われます。

⑤自己PR・院生へのメッセージ

6期生の方とは1年間、同期生とは2年間で、親交を深め、腹を割って話せる、終生付き合っていく仲間になったら幸いです。非常に不器用な為、至らない点があるかとは思いますが、今後ともよろしくお願ひします。

（記事：小暮早苗、龍崎冷華）